

平成17年11月8日
沖縄電力株式会社

平成17年度中間決算について

収支の状況

当中間期の収支につきましては、収入面で電気料金引下げの影響はあったものの、燃料費調整制度の影響等により売上高（営業収益）は前年同期に比べ2.9%増の794億70百万円（単独では3.5%増、752億74百万円）となりました。

一方、支出面では、燃料価格の高騰により燃料費が大幅に増加したものの、金武火力発電所の償却進行に伴う減価償却費の減少に加え、グループをあげて効率化の推進、諸経費の節減に努めたことなどにより、営業費用は3.2%増の662億円（単独では4.9%増、620億34百万円）にとどめることができました。

以上の結果、営業利益は1.4%増の132億69百万円（単独では2.5%減、132億39百万円）となりました。

また、営業外損益を含めた経常利益については、支払利息の減少などにより13.7%増の110億89百万円（単独では2.9%増、111億35百万円）、中間純利益は17.2%増の70億77百万円（単独では2.3%増、71億30百万円）となりました。なお当社の中間配当金につきましては、本日開催の取締役会において1株当たり30円と決定いたしました。

販売の状況

当中間期の電気の需要は、家庭用電灯や業務用電力などの民生用需要では、お客さま数の増加により、前年同期を上回りました。

また、産業用需要では、前年に渇水のため需要増だった水道業が反動減となったことなどにより前年同期を下回りました。

以上の結果、販売電力量は前年同期に比べ、電灯が1.6%増の15億26百万kWh、電力（特定規模需要を含む）が1.0%減の23億93百万kWh、販売電力量合計では、前年同期並みの39億19百万kWhとなりました。

以上

■平成17年度中間期 連結決算成績

(単位：百万円)

	当中間期 A	前年中間期 B	A-B	A/B (%)
売上高	79,470	77,240	2,230	102.9
営業利益	13,269	13,081	188	101.4
経常利益	11,089	9,757	1,332	113.7
中間純利益	7,077	6,039	1,037	117.2
1株当たり中間純利益	444円68銭	398円21銭	46円47銭	111.7

(注) 期中平均株式数：当中間期 15,917,001 株 前年中間期 15,167,521 株

連結子会社数：当中間期 13 社 前年中間期 13 社

■平成17年度中間期 単独決算成績

(単位：百万円)

	当中間期 A	前年中間期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B (%)
売上高	75,274	72,710	2,563	103.5
営業利益	13,239	13,580	△341	97.5
経常利益	11,135	10,821	313	102.9
中間純利益	7,130	6,970	159	102.3
1株当たり中間純利益	447円96銭	459円54銭	△11円58銭	97.5

(注) 期中平均株式数：当中間期 15,917,001 株 前年中間期 15,167,521 株

■平成17年度中間期 販売電力量 (電気事業)

() 内は再掲 (単位：百万 kWh)

	当中間期 A	前年中間期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B (%)
電灯	1,526	1,501	25	101.6
電力	2,393	2,418	△25	99.0
(業務用)	(1,383)	(1,373)	(10)	(100.8)
(大口)	(455)	(476)	(△21)	(95.8)
合計	3,919	3,919	0	100.0

(注) 特定規模需要は電力に含めている

■平成17年度中間期 単独収支前年同期比較表

(単位：百万円)

		当中間期 A	前年中間期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B (%)
経常収益	電灯・電力料	74,838	72,286	2,552	103.5
	その他収益	740	679	61	109.0
	(売上高)	(75,274)	(72,710)	(2,563)	(103.5)
	計	75,579	72,965	2,613	103.6
経常費用	人件費	8,315	8,284	31	100.4
	燃料費	16,844	13,621	3,222	123.7
	修繕費	6,190	5,369	820	115.3
	減価償却費	12,458	13,791	△ 1,333	90.3
	他社購入電力料	7,146	6,653	492	107.4
	支払利息	2,283	2,914	△ 631	78.3
	公租公課	3,478	3,588	△ 109	96.9
	その他費用	7,727	7,920	△ 193	97.6
計	64,443	62,144	2,299	103.7	
(営業利益)	(13,239)	(13,580)	(△ 341)	(97.5)	
中間経常利益	11,135	10,821	313	102.9	
法人税等	4,005	3,851	153	104.0	
中間純利益	7,130	6,970	159	102.3	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

■平成17年度 通期の見通し

連 結

売上高	経常利益	当期純利益
1,560 億円程度 (103.5%)	132 億円程度 (116.6%)	81 億円程度 (106.4%)

※ () は対前年度比

単 独

売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり	
			期末	年間配当金
1,420 億円程度 (103.5%)	120 億円程度 (103.6%)	77 億円程度 (101.4%)	30 円 00 銭	60 円 00 銭

※ () は対前年度比

平成17年度上半期 電力需要実績

1. 県内景況

平成17年度上半期の沖縄県経済は、雇用面で完全失業率が依然として高い水準にあり、厳しい状況が続いているものの、個人消費が底堅さを維持しているほか、観光関連では入域観光客数が前年を上回り、好調を維持しているなど、回復を続けております。

2. 需要実績の概要

平成17年度上半期の電力需要は、39億1千9百万kWhとなり、ほぼ前年並みとなりました。

3. 用途別にみると

〈民生用需要〉

家庭用電灯や業務用電力などの民生用需要は、お客さま数の増加により、前年を上回りました。

〈産業用需要〉

産業用需要は、食料品製造業や鉄鋼業等の需要増があったものの、前年に渇水のため需要増だった水道業が反動減となったことなどにより、前年を下回りました。

4. 年度の見通し

下半期については、当初計画どおり推移するものと見込んでおり、平成17年度の電力需要合計では、72億3千2百万kWh、前年を上回る見込みであります。

平成17年度上半期 電力需要実績

(単位:百万kWh、%)

		上期	下期見通し	年度	
特定規模需要以外の需要	電灯計	(1.6) 1,526	(2.1) 1,335	(1.8) 2,861	
	電 小 口	業務用	(1.2) 1,073	(0.6) 904	(0.9) 1,977
		低 圧	(▲ 4.0) 315	(▲ 3.0) 195	(▲ 3.7) 510
			(▲ 0.2) 216	(5.8) 209	(2.6) 425
		高 圧A	(▲ 2.5) 531	(1.3) 404	(▲ 0.9) 935
		計	(1.5) 142	(1.4) 134	(1.5) 276
	高 圧B	(▲ 2.3) 24	(5.5) 30	(1.8) 54	
	その他	(0.0) 1,770	(1.0) 1,472	(0.5) 3,242	
	電力計	(0.7) 3,296	(1.5) 2,807	(1.1) 6,103	
	電灯・電力計	(▲ 0.6) 310	(▲ 4.4) 213	(▲ 2.2) 523	
特定規模需要	業務用	(▲ 6.7) 313	(2.2) 293	(▲ 2.6) 606	
	産業用その他	(▲ 3.8) 623	(▲ 0.7) 506	(▲ 2.4) 1,129	
計	(0.0) 3,919	(1.2) 3,313	(0.5) 7,232		
合 計					

注:()は対前年同期伸び率

	上期	下期見通し	年度
民生用需要	(0.6) 3,248	(0.7) 2,677	(0.7) 5,925
産業用需要	(▲ 3.0) 671	(3.2) 636	(▲ 0.1) 1,307

注:民生用需要=合 計-産業用需要

産業用需要=高圧A+高圧B+特定規模需要の産業用

()は対前年同期伸び率